

## 第3学年〇組 道徳学習指導案

指導者 長洲 まい

本時の 研究テーマ	生徒にとって身近な資料を活用し、自らを振り返るとともに、今後の目標を設定し、その達成に向けての展望を見いだすための指導の工夫
--------------	----------------------------------------------------------------

1 主題名 「がんばる」ことの意味 A—(4) 希望と勇気、克己と強い意志

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

平成27年3月27日より、「道徳」が「特別の教科である道徳」とされ、学習指導要領が一部改正となったことのねらいとして、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」への転換を図ることが挙げられる。内容項目A—(4)「希望と勇気、克己と強い意志」については、目標に向かって不屈の精神をもって努力することができるようにするため、「より高い目標をもち」は「より高い目標を設定し」に、「着実にやり抜く強い意志をもつ」は「困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること」に改められた。つまり、単に意志・意欲をもつだけでなく、自分自身で具体的な目標を設定し、その達成のためには何が必要かを考え、実行に移すことまでが求められている。

本時の授業では、「頑張ることに意味はあるのか」をテーマに、考えを深める。生徒は、学校行事、実行委員活動、生徒会活動、学級活動、部活動など、3年間の中で多くのことを経験してきた。その中で、頑張ったからこそよりよい結果が得られたこともあれば、うまくいかず挫折したことも多いはずである。私たちが生きていく上では、目標や希望をもつことが大切である。目標は、生涯をかけて達成するような遠大なものだけではなく、身近で日常的な努力によって達成されることもある。その達成は、自信をもつことにつながり、今後の人生を切り拓いていく原動力となる。したがって、「単に一生懸命取り組む」のではなく、「目標があるからこそ、その達成のために一生懸命頑張れる」ということの大切さに生徒が気付くようにしたい。そして、受験に向けて現在の自分の生活を振り返り、具体的な目標を設定し、その達成のために頑張っていこうという意欲をもたせ、今後の学習、学校生活に生かせるようにしたい。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒24名は、学校行事や学級活動など、何事においても皆で協力し、取り組むことができる。学校行事の中には、運動会や合唱コンクールなど、勝敗がはっきりと表れる行事も数多くある。特に3年生は最後の学校行事で、プレッシャーから互いの思いがぶつかり合うときもあつたが、最後は勝敗に関係なく、「皆で一生懸命頑張ることができた、やり切った」という達成感と満足感に満たされて終えることができた。現在は全ての学校行事を終え、私立高校の志願先も決まっている中で、なかなか成績の伸びが感じられなかったり、本気で学習に取り組めていなかったりする生徒も見られる。しかし、志望校合格のために頑張らなくてはならないということも、生徒は十分に承知している。

本時の授業から、何事にも具体的な目標をもって、その達成のために努力すること、困難や失敗もあるが自分なりにどうすれば良いか考え、実行に移すことで乗り越えていくことの大切さを実感させ、「頑張ることの意味」について、自分なりの答えが見出せるようにしたい。生徒は、2学期の学校行事において、一致団結し、頑張ることができた。それは、スローガンを念頭に置き、「この行事・活動を、成功させたい」「皆で力を合わせてこの地点まで到達したい」という思い・目標があつたからだということ、最後に振り返られるようにしたい。

(3) 資料について 『「がんばる」意味』(出典「みんなのなやみ」 理論社 重松 清)

作家・重松清氏が、彼の元に寄せられた10代の悩みや疑問に、「正解」でなく「このような考え方もあるよ」という姿勢で答えてくれる悩み相談室のような著書である。その中の、14歳の「貴子さん」からの質問である、「一生懸命頑張って意味はあるんですか?」という部分を取り上げる。これは思春期の子どもが日々の生活の中で思い浮かべそうな質問であり、生徒は共感をもって「貴子さん」の質問を受け止められる。また、受験勉強がなかなかかどらないと感じている生徒も多いので、今の時期に適した資料だと考えた。「貴子さん」の質問に対し、重松氏は優しい目線で真摯に答えているのだが、

本時の授業では生徒たちに、自分なりに「頑張ることの意味」について考えさせたいので、重松氏の答えは提示せずに伏せておく。

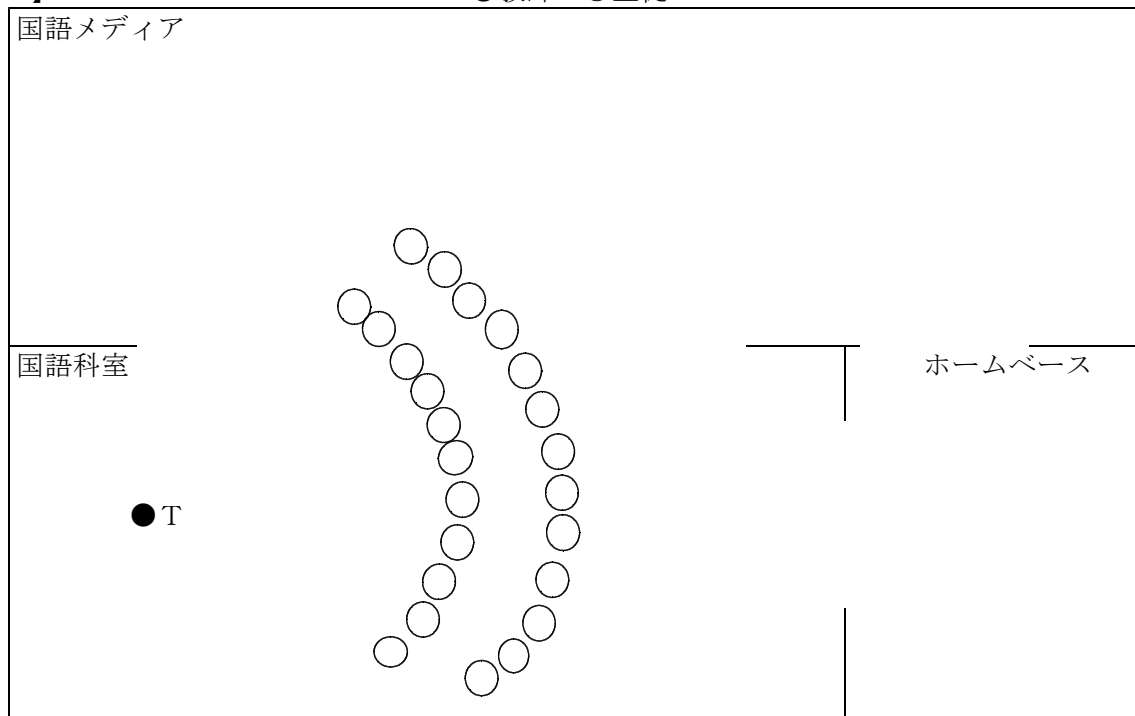
(4) 主題に迫るための手立て

「頑張ることの意味」については、単純に「ある」「ない」と答えが導き出せるわけではないため、生徒は自分自身の課題として受け止め、自分なりに考えをもつことができるようになる。その考えを他者と交流することで、生きていく上では様々な困難や失敗があるが、今までも多くのことを経験し乗り越えてきたことと併せて、自分なりに道を切り拓いていくことの大切さに気付かせたい。そして、自分自身を見つめ直し、これから目標を設定し、その目標の達成・希望の実現に向けて、自分にできることは何かを考え、実践していこうという態度を育てたい。

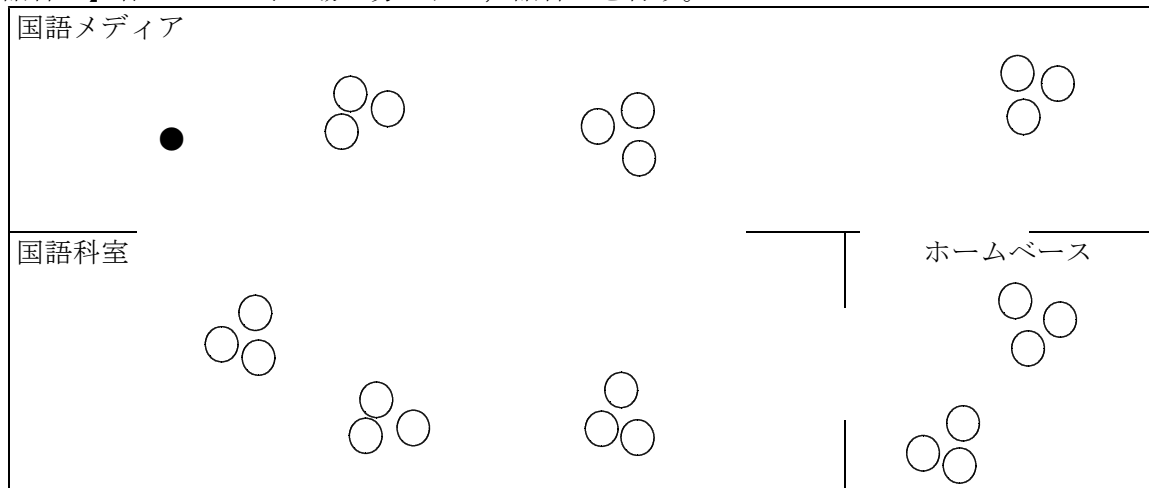
(5) 学習の場 国語科 国語メディア ホームベース

【全体での話し合い】

●教師 ○生徒



【グループでの話し合い】各グループや立場に分かれて、話し合いを行う。



4 本時の学習

(1) ねらい

『「がんばる」意味』を読み、目標を設定し、その達成のために努力することの大切さに気づき、その達成のために自分なりに何ができるかを考え、実践していこうとする態度を育てる。

(2) 準備・資料

- ・資料『「がんばる」意味』・ワークシート・意思表示カード・写真

(3) 展開

◎は中心発問

主な活動と発問	予想される生徒の反応	支援の手立て
<p>1 『「がんばる」意味』を 読んで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「一生懸命頑張ること」 に意味はあると思いますか。</p> </div> <p>○ 皆さんは、なぜ今まで 多くのことを「がんばる」 ことができたのでしょうか。</p> <p>◎皆さんの考える『「がんばる」 意味』とは何ですか。</p> <p>2 自分の現在の生活を振り返り、 自分がこれから何をしていけばよいか 考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味はある。運動会では、頑張った結果、同点優勝という最高の結果を得られたから。</li> <li>・意味はない。頑張っても得られるものが無い気がするから。</li> <li>・分からない。時と場合にもよるかも知れない。</li> <li>・自分自身のため。</li> <li>・仲間のため。</li> <li>・より良い結果を得るため。</li> <li>・目標の達成に近づくことができる。</li> <li>・困難を乗り越える力が身につく。</li> <li>・皆で協力し、一つのことに取り組む姿勢が生まれる。</li> <li>・自分自身を乗り越えて、強くなれる。</li> <li>・今、自分ができていることに精一杯取り組みたい。</li> <li>・志望校の合格に向けて、努力したい。</li> <li>・何事にも目標をもって取り組むようにしたい。</li> <li>・自分自身のこのような部分を変えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの経験なども思い出しながら、まず個人で「頑張ること」の意味について考えるようにする。</li> <li>・「ある」「ない」とはっきり答えが分かれなくても良いことを伝え、教室全体が様々な意見を許容できる雰囲気になるようにする。</li> <li>・同じ意見や近い考えをもつグループで話し合い、互いの意見や考えに触れられるようにする。</li> <li>・学級全体で話し合い、より多くの意見や考えに触れることで、自分の考えがより明確になるようにする。</li> <li>・自分が納得する意見には意思表示カードを示し、互いの考えが可視化できるようにする。</li> <li>・今までの経験を振り返り、各行事や活動の際に何か目指しているものがあつたこと、その達成に向けて頑張れたのではないかということ振り返られるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価</p> <p>目標を設定し、その達成のために努力することの大切さに気づき、その達成のために自分なりに何ができるかを考え、実践していこうとしている。 (ワークシート・観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「頑張ること」の意味について改めて考えることによって、自分自身が目標をもって、その達成にむけて努力することの大切さに気づくようにする。</li> <li>・重松清氏の考え方を示し、正解でなく、このような考え方もあるということを伝える。</li> <li>・何人かに発表させ、人によって様々な考え方があつてよいことを意識できるようにする。</li> <li>・これからの目標として受験を意識し、今後どのように取り組んでいけばよいかを考えられるようにする。</li> </ul>